

「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」～新たな未来の創造～

みらい



1
2025

JA鹿児島みらい 広報誌No.52



新年のごあいさつ 新年あけましておめでとうございませう



代表理事組合長
村山 眞一郎

組合員・地域の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はJA鹿児島みらいの運営および各事業活動に対しまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日に最大震度7の能登半島地震が発生し、4月には愛媛県・高知県で、8月には宮崎県で震度6の地震が発生しました。9月には石川県で、能登豪雨が発生しました。加えて、8月には台風10号の上陸により、鹿児島県全域で甚大な被害が発生するなど、災害の多い年でありました。併せて、世界的な物価高騰による生産資材価格の高止まりや常態化する異常気象等により、多くの地域で営農が継続できるか危機的な厳しい状況にあります。

また、農業を取り巻く環境は、組合員の高齢化や農業従事者の減少、耕作放棄地の増加など多くの課題が山積しており、人口減少が進む中で、多様な農業人材を確保・

育成し、生産基盤を維持していくため、組合員とともに産地を維持・拡大することで、

地域社会の守り手を維持することが求められております。そのため、組合員との接点を増やし、ニーズに的確に対応することで、組合員の結集力強化に努め、事業利用や准組合員の運営参画など、地域の持続可能な発展に貢献できる身近なJAを目指してまいります。また、食料の安定的な供給を確保する「食料安全保障」への貢献に向け地域農業の活性化が求められており、わが国の食料・農業・農村をめぐる環境が大きく変化しているなか、将来にわたって、国民の安全・

安心を守るため、JAでは「国消国産」を提唱し、国民理解の醸成や消費行動の変容に繋がる情報発信を実践してまいります。

このような中、昨年6月に、伊敷・下伊敷・花野・小野の4支店を統合し伊敷支店をオープン。11月には、中山・山田の2支店を統合し、谷山北支店をオープンいたしました。地域の組合員・利用者や関係者の皆様には、ご理解とご協力を賜り無事に統合の運びとなりましたことに心からお礼を申し上げます。

さて、昨年の下期地区別説明会において協議させていただきましたが、令和7年度にATMや購買店舗機能の再編を進めることといたしております。今後、組合員の皆様、地域の皆様との対話を重ねてまいり

すのでよろしくお願いいたします。

当JAでは、JA経営基盤の確立・強化に向け、「自己改革取組宣言」に基づき、組合員の皆様との対話を通じて、必要な見直しを行う「自己改革実践サイクルの実践」を進めてまいります。組合員・地域の皆様から、私どもの自己改革の取り組みを評価いただくためには、確実に実践し、伝えていくことが重要だと考えております。今後も総代会・地区別説明会などを通じて、自己改革の取り組み状況を丁寧に説明し、対話を重ね、組合員の皆様の評価と意向を踏まえ、更なる自己改革に取り組んでまいります。

JA鹿児島みらいは、「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」を経営理念として、都市農業の振興を基軸とした自己改革の実現と総合事業を支える経営基盤の確立に取り組み、「出迎える体制の整備」と「出向く体制の強化」を通じ、組合員・地域の皆様に継続してサービスを提供できるよう役員一丸となつて邁進してまいります。

最後に「巳年」は、「成長」や「変革」の年と言われ、当JAにとりまして、これまで実践してまいりました努力が、実を結ぶ年になることを願っております。組合員・地域の皆様方にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

また、農業を取り巻く環境は、組合員の高齢化や農業従事者の減少、耕作放棄地の増加など多くの課題が山積しており、人口減少が進む中で、多様な農業人材を確保・

育成し、生産基盤を維持していくため、組合員とともに産地を維持・拡大することで、

1月号 目次

新年のごあいさつ	2
トピックス	4
支店企画	9
女性部通信	10
食農教育	12
購買店舗再編のお知らせ	14
不動産情報	14
イベント開催されました	16
旬を食べよう	17
家庭菜園	17
読者からのおたより	18
お楽しみクイズ	19
アートの広場	20





常勤監事
下尾 孝秋



代表監事
福重 祐之



常務理事(信用共済担当)
杉森 広行



常務理事(管理経済担当)
橋口 公治

【理事】
枇榔 稔 林 大史 飯屋 幸孝 迫 博光 富安 仁 井手上 貢 森山 智 古別府伸一郎 樋口 智 江川 健二 奥 賢一 江藤 正弘 本村 浩 西 久人 青屋 學 上水樽 孝 野田 勉 藤崎 国子 守屋 宏美 緒方 由美子

【監事】
上國料 靜 曾木 豊 有元 利和 小園 修一
【員外監事】
今村 順二

JA鹿兒島みらい
非常勤理事・監事



谷山北支店オープン

11月25日、谷山北支店がオープンし、多くの来店者が訪れました。

今回、当JAの既存の2店舗(中山・山田)を統合し、組合員数は、正准組合員合わせて3700人、貯金残高140億円、貸出金残高63億円の規模となり当JAの南部地区において中核を成す店舗として新たな一歩を踏み出しました。

同支店は、セキュリティ管理自動認証制御ユニットを設置し、将来的なデジタル化への対応や地域の協同組合活動の活性化対策として、調理設備を備えたコミュニティスペースを設置するなど、高能スマート店舗として、今後の新しい金融店舗の形を先取りした設計となっております。

オープニングセレモニーでは村山眞一郎組合長が「経営理念のもと皆様に愛される店舗を目指し、充実したサービスを提供できるように職員一丸となって取り組みます」とあいさつしたあと、関係者によるテープカットが行われ、新店舗の新たな門出を祝いました。

また、統合した2支店の女性部がオープン記念として先着100人に手作り赤飯をプレゼントし来店者は「赤飯のプレゼント素敵ですね。数年後には年金受給者になるので年金友の会に入ってから後を楽しみます」と笑顔で話していました。



女性部中山・山田支部合同で 赤飯作り

11月24日、女性部中山支部と山田支部は加工センターでの赤飯作りに部員12人が参加しました。



今回、11月25日にオープンする谷山北支店への来店者やオープニングセレモニーに参列する関係者にお祝いと日頃の感謝の気持ちを込めて、ふるまつ赤飯を作りました。加工室では、早朝から部員らが集まり、事前に準備した餅米やうるち米、小豆を混ぜ合わせ、蒸籠に入れ蒸しあげたあと、流れ作業でパックに詰めて熨斗を貼り「初めて2支部合同で活動することが出来た。最高に美味しい赤飯が出来たので明日は来店者に笑顔を届けます」と声を弾ませていました。



錫山千両2024年産出荷へ

12月9日と12日、錫山集荷施設で錫山千両グループによる2024年産千両の出荷が行われました。



同千両グループでは、6戸の生産農家が露地とハウス(70a)でお正月には欠かせない実付きのいい千両作りに取り組んでいます。

2024年産は、例年に比べ高温や長雨などの影響を受け、実落や色づきの遅れなどで出荷量は減少したものの、中等級を中心に5000本の千両が出荷されました。

集荷施設では、塘宮農指導員が出荷された千両の房数や粒数、着色などを検査したあと鹿兒島県や市、メンバーらが包装し階級別に箱詰めを行いました。

右田幸治会長は「長年千両を作ってきました。こんなに色がのつてこない年は初めてでしたが中等級を中心に出荷することが出来ました。色づきが遅れ市場に出荷出来なかった千両は収穫時期をずらして年末に向けて直売所等で販売します。千両はお正月の縁起物なので一輪でも飾って楽しい年越しを迎えてほしい」と話していました。



桜島小みかんハサミ入れ式

11月27日、2024年産桜島小みかんのハサミ入れ式が桜島武町にある坂元克明さん（51歳）の園地



で開かれ、鹿児島県や鹿児島市、桜島柑橘ハウス振興会、桜島保育園の園児、JA関係者ら40人が初収穫を祝いました。

園地では、安全祈願祭のあと村山眞一郎組合長や桜島柑橘ハウス振興会の白川隆会長、桜島保育園の園児、桜島小みかん娘など関係者6人がテーパーカットを行い、たわわに実った果実にはササミを入れ収穫しました。

園児らは、収穫方法を教わったあと待ちにまつた収穫と試食を楽しみ「甘くておいしい。籠いっぱいになるまで小みかん収穫します」と賑やかな声と笑顔が園地に溢れていました。



桜島小みかん初セリ

12月2日、鹿児島市東開町にある中央卸売市場で鹿児島冬の風物詩として昔から親しまれている桜島小みかんの初セリが行われ、セリ場にはMし玉を中心に1.5tが初出荷されました。



セリ場では、JA鹿児島みらいの村山眞一郎組合長が「高温乾燥と夏場苦労した分、今年もバランスの良い美味しい果実に仕上がっている。香り高い美味しい小みかんをひとりでも多くの消費者に届けられるよう生産農家も最後まで頑張りますので販売よろしくお願います」とあいさつしたあと、仲買人たちの威勢のいい掛け声が響き次々とセリ落とされました。

桜島小みかんは、紅系桜島小みかん「紅さくら」と桜島小みかん（在来）のリレー出荷を行い「みかんは小つぶ甘さは大つぶ」をキャッチフレーズにスーパーやインターネット販売、イベント等で延べ22日間、贈答用を中心に販売されます。



桜島小みかん出前授業

12月11日、桜島ブランド総合販売促進対策協議会は鹿児島市内の鹿児島市立皆与志小学校と鹿児島市立緑ヶ丘中学校の学校給食に桜島小みかん900個（約45kg）を提供しました。



今回は、皆与志小学校の5・6年生（17人）を対象に、同協議会の白川隆会長が桜島小みかんについて説明したあと、鈴なり枝を使った収穫体験へと移り、児童らはハサミを手に初めての収穫を体験し「楽しかったです。制服のポケットは収穫した小みかんのでパンパみです」と笑顔いっぱいでした。

体験を終えた児童から「17人で鈴なり枝（2本分）を収穫するだけでも時間がかかったので実際に桜島小みかんの園地で収穫するのはとても大変な作業だと思いました。桜島小みかんを大切に味わいたいです」と白川会長にお礼の言葉を伝えました。



桜島小みかんの園地に フランス大使館のシエフラ視察



11月13日、桜島小みかんの園地に在日フランス大使館のイヴ・ローラン公邸マネージャーとセバスチャン・マルタン公邸料理長ら関係者6人が鹿児島県内の食材及び伝統的工芸品産地視察に訪れました。

今回、11月11日から13日の3日間の日程で、薩摩切子や薩摩錫器、酒造会社、鹿児島黒牛、火山灰干しなどの施設13ヶ所を視察しました。

13日(視察3日目)には、桜島武町にある桜島小みかん生産農家の坂元克明さん(51歳)と末奈子さん(40歳)の園地を訪れ、栽培方法や生産状況、歴史について説明を受けたあと、色づき始めた収穫前の桜島小みかんを試食し「香りが高くて美味しい」と絶賛し、味を確かめていました。

また、サプリメントで坂元さんが手作りの桜島のオブジェを使って島内の説明をする場面もありました。

坂元さんは「フランス語は話せないのですが、セバスチャン公邸料理長が通訳をしていたので驚きました。桜島小みかんがフランス料理にどう活かされるのか楽しみです」と話していました。



白ネギ生産部会目揃い講習会



11月18日、白ネギ生産部会は2024年産目揃い講習会を開き、部会員と関係者20人が参加しました。

同部会では、35戸の生産農家が2haで白ネギを作り、2024年産は県内を中心に9tの出荷を計画しています。

講習会では、和田宮農指導員が「2024年産は夏場の高温で病害虫の発生が目立ち始め、根の伸長も停滞、10月の曇天も重なり生育が遅れている」と生育状況を報告したあと、今後の管理作業として、十分な茎の太さを確保するために収穫30日から40日前までに最終土寄せを徹底するように伝えました。

また、例年より温暖な気候が続いているため、予防散布を含めスリップスやべと病、黒斑病などの病害虫防除の徹底、出荷規格等を再確認しました。

伊敷支店で防犯訓練実施



11月15日、伊敷支店で鹿児島西警察署生活安全課の協力のもと、同支店職員のほか役職員40人が参加し、年末に向けて多発する犯罪への対策として金融機関強盗事件に関する防犯訓練を実施しました。

訓練では、実際に起こりうる犯罪を想定して警察官が強盗犯人に扮し、来店客役の職員を人質にとりて現金を要求したあとバックを受け取り逃走、職員が追いかけるまでを体験しました。

また、店内では駆け付けた警察官に逃走方向や犯人の人相と着衣についての事情聴取を受けるなど、緊迫した訓練となりました。初めて参加した職員は「訓練だと知りながらもあまりの迫力に動けなかった。体験したことで課題や反省点など職員で共有することが出来ました。訓練は大事だと感じました」と話していました。



鹿児島市園芸共進会表彰式

11月17日、2024年度鹿児島市園芸共進会表彰式が農業センター研修ホールで開催され、根菜類や葉菜1類・2類、特殊野菜類などの優等者代表に賞状と賞品が送られました。

2024年度に出品された果菜類・豆類、花き類、果実類など315点は前日の16日に鹿児島市や市場、JAなどの関係者26人が審査基準に基づき、優等(18点から3等、等外)を選びました。

表彰式では、審査報告と優等者代表5人を紹介したあと、鹿児島市農林水産まつり実行委員の村山眞一郎会長が賞状と賞品を授与し、功績をたたえました。

今回の優等者は左記の17人です。(代表表彰者は○印)

- 【大根】夏迫千枝子 ○【カブ】武光義
- 【キャベツ】脇田由香 【ブロッコリー】樋高一郎
- 【ホウレンソウ・春菊】田中敏郎 【小松菜】宇都裕一
- 【水菜】坂元光行 ○【チンゲンサイ】森山雅宏
- 【シヨウガ】鳥丸俊秀 【発芽野菜】久保洋
- 【ニガウリ】梅北健児 ○【カボチャ】高木直
- 【キュウリ】脇田寛史 【切花】鎌田洋平
- 【花苗物】水田哲史 【レモン】揚村俊一
- 【小みかん】坂元克明



カボチャ部会出荷はじまる

12月4日、カボチャ部会は吉田南支店で2024年産秋カボチャの出荷協議会を開き、会員と関係者10人が参加しました。

同部会では、17戸の生産農家が1.2haで安心・安全なカボチャ2品種(エビス・ウリゴロウ)を作り、良品質のカボチャを消費者に届けています。

同会では、和田宮農指導員から生産販売状況や出荷計画について説明を受けたあと、12月21日の冬至に合わせた調整作業や集荷日、品質基準、出荷規格基準等を再確認しました。

2024年産は、12月17日に集荷したあと、約5tのカボチャが東京千住青果に出荷されます。



FMラジオでフリルレタス紹介

12月13日、エフエム鹿児島島の「L'انون」に新留宮農指導員が出演し、軟弱野菜部会(通称・よしの優)良の取り組みや新品目(14品目)となる野菜「フリルレタス」を紹介しました。

よしの優ラ良は吉野・吉田地区で水菜や小松菜、春菊、紅かいわれ、ラディッシュなど13品目をハウスで栽培し、かごしまの農林水産物認証のK-GAPを取得して食の安心・安全に取り組んでいます。

スタジオでは、新留指導員が「フリルレタスは名前の通り、葉先がフリルに似ているとても可愛らしい野菜で、栄養分が豊富です。また、12月末から花束をイメージしたこだわりのパッケージで販売されるので是非「ご賞味ください」とリスナーに伝えました。



青年部畜産支部の千竈裕樹支部長 青年部九州大会で組織活動実績発表

12月9日と10日の2日間、九州地区では最大のJA青年部のイベントとして、2024年度JA九州・沖縄地区青年大会が長崎県で開催され、各県から盟友とJA関係者ら370人が参加し、各県の代表から組織活動実績とJA青年の主張の2部門の発表が行われました。



当JAからは10月に開かれた鹿児島県青年大会の組織活動実践発表で最優秀賞に選ばれた青年部畜産支部の千竈裕樹支部長が県代表として九州大会に出場しました。

発表では、「つぎのステージへ」と題し、「畜産部員がめざすもの」と「耕作放棄地の復活」の2つの柱について15分間の持ち時間の中で畜産支部の発足や放牧への挑戦、耕作放棄地での食農教育など、これまで取り組んできた活動を紹介しました。

惜しくもJA全国青年大会への出場はできませんでしたが、発表を終えた千竈さんは「2023年の発表で県代表の切符を握れなかった悔しさの中、1年間色々な人を巻き込んで経験したことを今回発表し、1年越しに県代表として九州大会に行けたことはとてもいい経験になりました。全国への目標には届かなかつたけれど、長崎まで応援に駆けつけてくれた青年部の仲間、声援で緊張も吹っ切れて発表できました。また1からの積み上げになります。JAの青年部園芸・畜産の仲間として今後も活動していきたい」と話していました。

JAの青年部園芸・畜産の仲間として今後も活動していきたくと話していました。



吉野小学校の児童が 農産物直売所「ごしよらん」を探検

12月3日、吉野小学校の2年生（184人）は「もつとなかよしたんけん」を実施し、農産物直売所「ごしよらん」を探検しました。

今回は、生活科の学習の一環として「まちたんけん」と題して、校区内の商店や様々な施設（6ヶ所）を回りました。

児童らは、各班に分かれ交番や児童クラブ、高齢者福祉施設などを巡回したあと、「ごしよらん」を訪れ、豊島宮農指導員から苗や店内で販売されている野菜、花についての説明を受けながら施設内を探検しました。

また、屋外の「みいちやん農園」では、ハクサイやキャベツ、ブロッコリー、タマネギなど野菜当てクイズを楽しんだあと、それぞれの野菜の特徴や収穫時期について学び、「ごしよらん」での探検を楽しんでいました。



支店企画

谷山支店

谷山支店ふれあい感謝の集い

10月27日、谷山支店ふれあい感謝の集いを開催しました。

今年は谷山ふるさと祭りと同日に開催し、多くの方々が来場され、大いに盛り上がりました。

昨年に引き続き、生産者・女性部の方々にもご協力頂き、野菜やお花・お餅などの販売を行いました。

他にもグラウンドゴルフや輪投げのイベントコーナーも設置し、小さいお子様からお年寄りの方々まで楽しんで頂き、夢中になっている姿がとても印象的でした。

当日は天気も良く無事に開催できて良かったです。

ご来場頂いた地域の方々、本当にありがとうございました。



村山

支店広報担当
村山職員

支店企画

桜島支店

桜島支店の令和6年度ふれあい感謝の集いが桜島選果場にて11月22日に開催されました。

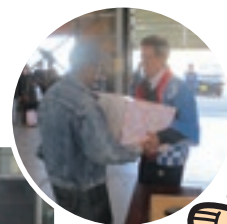
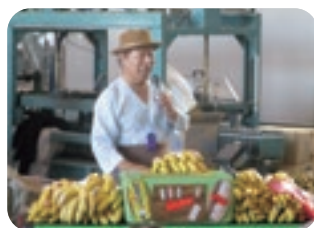
当日は、天気も良く朝早くから受付には300人の行列ができました。

Aコープ野菜コーナー・ポップコーン・綿菓子・女性部湯茶接待・花苗物・パン屋さん・キッチンカー・JA軟弱野菜など多くの出店がありました。

野田理事の開会の挨拶に始まり、桜峰幼稚園による和太鼓、桜島保育園の縄跳び、女性部のフラダンスショーと会場を盛り上げて頂きました。

イベントではグラウンドゴルフ・バナナの叩き売り・野菜詰め放題があり、特に野菜詰め合わせの時間が凄い人でした。

最後の抽選会では番号が呼ばれる度に歓声が沸き、多くのお客様が商品を抱えて喜んでいました。



高山

支店広報担当
高山職員

女性部通信

女性部日帰り旅行で 親睦深める

11月19日、女性部は毎年恒例のふれあい旅行を開催し50人が参加しました。今年は天草方面への旅行が計画され、天草四郎ミュージアムや2015年に世界文化遺産に登録され、日本で唯一残る明治期の港である明治日本の産業革命遺産三角西港を見学しました。

昼食は天草の地元食材を使用した食事が提供され、参加者は大満足の様子で、昼食後には抽選会も実施され、終始和気あいあいとした楽しい雰囲気、会場には笑顔があふれており、親睦を更に深める機会となりました。



JAFフレミズ交流会運動会

11月27日、県内のJAFフレッシュユミズ会員ら52人が集まり、かんまちあで「JAFフレミズ交流会運動会」が盛大に開催されました。各地区の参加者が紅白2チームに分かれ、あめ食い競争や玉入れ、JAならではの「野菜の重量当てクイズ」など5種類の競技を行いました。

当JAからも5人のフレミズ会員が参加し、他地区のフレミズ会員との交流を楽しみました。交流会運動会に参加した一般参加者1名が当JAFフレミズに新たに加入しました。

守屋宏美代表は「想像以上に盛り上がった。会員が交流できる活動を続けて、新たな仲間を増やしたい」と笑顔で話していました。



女性部通信

日帰り旅行で交流深める 西谷山支部

10月29日、女性部西谷山支部は、支部研修旅行を開催し、部員・支店職員を含む34人が参加しました。今回は、部員の「日頃行けないところに行きたい」との希望を受け、同支部の川畑功美子支部長が中心となり甌島への旅行が実現しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、里麓武家屋敷跡や『長目の浜展望所』『甌大橋』など島内の名所を巡り、部員間の親睦を深めました。また、専属ガイドから甌島の地形や島内の歴史が説明された際は、真剣な表情で説明に耳を傾けて、鹿児島県でありながらなかなか行くことのない「甌島」を知る機会となりました。

川畑支部長は「部員が行きたいと思う旅行を計画したかった。例年より多くの部員の参加があり、親睦をさらに深める機会となったことがうれしい」と話していました。



クリスマスリース作り 谷山東部支部

11月8日、女性部谷山東部支部生け花グループは谷山東部支店でクリスマスリース作りを開き、6人が参加しました。

市販のリースの土台にクリスマスの飾りやリボン、松ぼっくりなどを使ってそれぞれ個性豊かなオリジナルのクリスマスリースを作りました。出来上がったリースは来店者に喜んでもらうため同支店やふれあいカフェさんあいに飾られたほか、支店ふれあい感謝祭で販売されました。

同グループの御供田眞理子部長は「みんなで子どもの頃に戻って和気あいあい時間を忘れてリース作りを楽しみました。支店のお客さんが喜んでくれたら嬉しい」と笑顔で話していました。



玉江校区文化祭で手芸品展示 小野支部

11月10日、玉江小学校体育館で開催された第32回玉江校区文化祭で部員9人が参加して手芸グループの展示や舞台発表をしました。手芸に興味をもった来場者1人が女性部に新たに加わりました。

部員らが日頃の活動で作った十五夜のうさぎや野菜、羽子板などを展示し会場を華やかに飾りました。また、舞台発表では来場者と一緒に「まりと殿様」を踊って盛り上げていました。

川田原光美支部長は「自分たちの活動に興味をもった方が女性部に入ってくれて嬉しい。これからも地域の行事に参加し、交流と仲間づくりを努めました」と話していました。



教育

アグリスクール桜島小みかん収穫体験&しめ飾り作り

12月7日、アグリスクールを開き、親子連れやJ A関係者ら60人が参加し、選果場見学旬を迎えた桜島小みかんの収穫体験やしめ飾り作りに挑戦しました。

見学

桜島柑橘選果場では、生産農家から集荷された桜島小みかんが次々とレーンに流され、傷果や腐れ果などを取り除いたあと光センサー（赤外線で糖度を判定するシトラスセンサー）で糖度13度以上のものがサイズごとに選別され、品質チェックされた果実だけが箱詰めされ出荷されるまでの流れを見学しました。



収穫

桜島小みかんの収穫体験では、桜島武町にある園主の坂元克明さん（51歳）から桜島小みかんの特徴や収穫方法について説明を受けたあと、籠とハサミを手にたわなに実った桜島小みかんの収穫を楽しみました。中には収穫しながら試食する参加者の姿もあり「収穫初体験です。収穫しては試食しての繰り返しで中々、籠いっぱいにならないですね」と声を弾ませていました。この日は264kgの桜島小みかんを収穫しました。



作る

しめ飾り作り体験では、しめ縄作り歴20年以上の鳩宿隆雄さん（71歳）がアグリスクール参加家族にしめ縄にまつわる話や飾る意味について説明したあと、本格的なしめ飾り作りが始まりました。自家製の藁を使った「しめ飾り」を伝承し「藁は柔らかいのでしっかりと編み込んでください」と参加者に声をかけながら藁編みをサポートしました。編みあがった藁のリースには、造花やダルマ、獅子舞などお正月用飾りが付けられ、オリジナルのしめ飾りが完成しました。参加者は「子供と一緒に試行錯誤しながら我が家の飾りが完成しました。縁起のよい28日に玄関に飾って新年を迎える準備をします」と声を弾ませていました。



★1月の運勢★
牡羊座
 3/21~4/19

【全体運】 厳かな一年の幕開けです。味方が多いので面倒事もクリアしていけます。順に対処しましょう。映画、演奏会にツキ
 【健康運】 体の不調に気付きにくいとき。無理はしないで
 【幸運の食べ物】 フキのとう

牡牛座
 4/20~5/20

【全体運】 運勢に勢いがあり好情報をキャッチできます。あれこれやってみるといいでしょう。試行錯誤すると得るものあり
 【健康運】 軽い気持ちで始めた運動が大当たり。試してみてください
 【幸運の食べ物】 水菜

中山小学校作ったお米を試食

11月26日、中山小学校で5年3組の児童33人が自分たちで作ったお米を使った調理実習を行いました。

同小学校では、5年生の児童を対象に2012年から地元農家の

竹内清治さん(76歳)夫婦や地域づくり協議会のメンバーらのサポートをもらいながら米作りのノウハウを学んでいます。2024年産は17俵の米が収穫でき、竹内さんが乾燥させたあと調理実習にあわせて精米し学校に届けました。

児童らは、炊飯器ではなく鍋を使った米炊きに挑戦し「火加減が難しかった。ちよつと焦げご飯になったけどお餅の味がして最高に美味しい」と口いっぱいに頬張り新米を味わっていました。

また、お米作りをサポートしてくれた校長先生と教頭先生に児童らが手作りのおにぎりをサプライズでプレゼントし先生は「ありがとう。みんなが苦労して作ったお米をゆつくり味わいますね」と児童らに声をかけ笑顔で受け取っていました。



コモンヒルズはらら700本のタマネギの苗定植

11月23日、原良支店管内にある積水ハウス(株)の分譲住宅地コモンヒルズはららの「はららっぱ農園」に住民ら40人が参加し、タマネギの苗(700本)を定植しました。

今回は、長谷謙佑宮農指導員が苗の植え方について説明したあと、参加者らはマルチの穴に苗を定植し生育を願いました。

参加した小学生は「タマネギ作りは2回目なので植え付け作業も上手にできました。苗を少しもらったので家でもタマネギ作りに挑戦して春にはダブル収穫できるようにお世話します」と声を弾ませていました。定植した苗は2025年5月上旬に収穫を予定しています。



伊敷支店管内にある鶴之村地区で秋の収穫祭

11月17日、伊敷支店管内にある鶴之村地区で、秋の収穫祭が開かれ町内会やあいご会、長寿会、JA関係者あわせて30人が参加し収穫の秋を満喫しました。

同町内会では、高齢者や子供たちとの交流の場として末吉正隆町内会長の畑に6月上旬にサツマイモ(紅さつま)を定植して、今年は1ヶ月遅れての収穫となりました。

収穫祭では、町内会のメンバーからサツマイモの生育状況や収穫方法について説明を受けたあと、子供たちは待ちにまつた収穫を楽しみ賑やかな声と笑顔があふれていました。



～組合員および利用者の皆さまへ～

購買店舗再編のお知らせ

今回、持続可能な経営基盤の確立・強化対策の一環として、令和7年3月に購買店舗の再編を行うこととなりました。今後は下記の4つの店舗へと集約し、営業および配送業務を行います。組合員・利用者の皆さまにはご不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。当JAは今後も地域に選ばれる組織を目指し、役職員一丸となって事業へ取り組んでまいります。

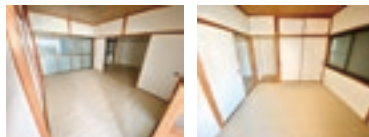
現在の購買店舗	再編後の購買店舗	
	名称	場所
営農センター・吉田南支店購買・吉田事業所	北部経済センター	現 営農センター
小山田支店購買・皆与志事業所・犬迫事業所	西部経済センター	現 小山田支店購買
グリーンセンター西谷山・田上支店購買・広木事業所	南部経済センター	現 グリーンセンター西谷山
本部購買課・桜島支店購買	中央経済センター	現 本部購買課・桜島支店購買

※吉田南購買・吉田事業所・皆与志事業所・犬迫事業所の4事業所については、週2日ずつ1年間営業を継続いたします。【営業時間】9:00~15:00

購買店舗再編日 令和7年3月1日(土)

不動産センターからのお知らせ

JR指宿枕崎線 坂之上駅徒歩9分	3K
賃料	50,000円
内部リフォーム済み★ 駐車場2台付きです。	
物件名	上村貸家5号室
所在地	鹿児島市坂之上6丁目 4-3
間取り	和6和6和4.5K4.5
敷金	3ヶ月
駐車場	付無料(2台)
構造	木造
占有面積	55.05㎡
築年月	1986年3月



賃貸物件、家・土地の売買、リフォーム(外壁塗装・屋根・瓦・内装・浴室・トイレ・台所等)のご相談承ります。お気軽にお問い合わせください。

「売却物件」(土地・住宅・賃貸物件)のご相談承ります。(無料査定・秘密厳守)お気軽にお問い合わせください。

JA鹿児島みらい 不動産センター

鹿児島市東谷山2丁目22-23
JA鹿児島みらい 谷山東部支店2階
TEL 099-268-2263 FAX 099-260-9591
E-mail tny.100-105@ks-ja.or.jp
http://ja-kagoshimamirai.com/



★1月の運勢★
獅子座
7/23~8/22

【全体運】運勢はスロースタート。時間をかけて取り組めば状況に変化が。思わぬところから助け舟も現れそうです
【健康運】ビタミンCをしっかり取って風邪を予防
【幸運の食べ物】キンカン

★1月の運勢★
乙女座
8/23~9/22

【全体運】好調運です。努力が実り活躍の機会を得られます。注目されやすいのでおしゃれに力を入れて。レジャーが吉
【健康運】スマホやテレビはほどほどに。肩のストレッチが◎
【幸運の食べ物】ロマネスコ

選ぶことも、 食べることも、 「農業」なんだ。

生産者がつくったものを消費者が選んで食べる。

その当たりまえ、ちょっと意識を変えてみませんか。

国産を選ぶこと。それは、耕すこと。

国産を食べること。それは、収穫すること。

農業を動かすのは、生産者だけじゃない。

これからはあなたの行動が、農業を動かしていく。

どんなときも、いつまでも、安定して食べつづけるために。



国産を消費しよう。国内で生産しつづけよう。

育てよう明日を JAグループ鹿児島

★1月の運勢★

天秤座
9/23~10/23

【全体運】 つまずきを感じたら変えどき。違和感はそのままにせず向き合ってみましょう。良い気付きを得られます。掃除が吉
【健康運】 栄養バランスの取れた食事を心がけて
【幸運の食べ物】 キウイフルーツ

蠍座
10/24~11/22

【全体運】 問題解決の兆しが見えています。友人や知人からの提案に目を向けてみましょう。徐々に成果が出始めるはず
【健康運】 スポーツを楽しめます。筋トレも効果あり
【幸運の食べ物】 ダイコン

イベント開催されました

秋のたわわ祭り

11月16日、Aコープ直売部会（伊敷・桜ヶ丘吉田青空市の会）は、JAグループ秋のたわわ祭りに出店し、Aコープ3店舗で部会員らが旬の野菜を中心に地元野菜を対面販売しました。

Aコープいしき店の正面入口前には、同伊敷部会のブースが設けられ、シユンギクやシイタケ、深ネギ、キャベツなど10種類以上の冬野菜が並び、多くの来店者が買い求め、部会員との対話を楽しんでいました。

中でもシイタケは販売開始から1時間ほどで完売するほど大人気で、追加で届くと「ポリウムのあるシイタケ美味しそこと買い求める来店者で賑わいました。

来店者は「農家さんと直接話せるのが楽しみ。新鮮な地元野菜がやっぱり美味しい」と笑顔で話していました。



鹿児島市農林水産まつり

11月17日、鹿児島市農林水産まつりが都市農業センターで開かれ、市内外から1万7千人が訪れました。

会場には、旬の野菜や果物、加工品販売のほか、丸太切りやジャガイモ収穫など体験イベント、地元味が堪能できる飲食コーナー、生産者と鹿児島女子短期大学による6次化PRなど40のブースが設けられました。

当JAブースでも女性部によるふくれ菓子や野菜せんべいの販売と併せ、野菜の摂取量が数値化できるベジメーターも設置し、来場者が足を止め計測していました。

また、黒牛の展示および重量当てクイズのブースでは、当JAの青年部畜産支部の千電裕樹支部長が「まなか号・ふくなつ号」の2頭を展示し、来場者が牛とふれあえるようにと2年前から愛牛を紹介しながら子供たちとの交流を図っています。

今回は、1歳6ヶ月の「ふくなつ号」の重量当てクイズが出題され、多くの親子連れが牛とふれあいながらクイズに挑戦し「牛を見るのも触るのも親子初体験でした。とても大満足の一日でした」と声を弾ませていました。



鹿児島みらいフェア

12月8日、2024おいどん市場と次郎館Present's JAフェアⅡ第10弾鹿児島みらいフェアが開かれました。

オープンを前に村山眞一郎組合長があいさつしたあと販売開始となり、多くの来場者で賑わいました。贈答用の桜島小みかん販売やワンコイン詰め放題、シユンギクやハクサイ・白ネギなど旬の冬野菜や新米の量り売り、女性部・フレッシュミズによるふくれ菓子や野菜せんべい、米粉のシフォンケーキ等の加工品販売などが行われました。

野菜の摂取量が計測できる「ベジメーター」のブースには来店者が集まり、先着150人に粗品がプレゼントされました。

また、同JAの郡元支店のブースでは、臼や杵を使った餅つき体験会があり、搗きたての餅で作ったあんこ餅が振る舞われ、参加者は「搗きたては美味しいですね。一足先にお正月気分になりました」と笑顔が溢れていました。



★1月の運勢★
射手座
11/23~12/21

【全体運】運勢に乱れが。順調だったことにストップがかかるかと思えば、その逆も。やりやすいところから手を付けて
【健康運】冷えに気を付けて。ストレッチで血行促進
【幸運の食べ物】 ぶどう

山羊座
12/22~1/19

【全体運】勢いはありますが油断は禁物。手を抜かず最後までびしっと決めましょう。合理的に考えることも大切です
【健康運】トイレは我慢しないで。肌の保湿は入念に
【幸運の食べ物】 ウッド

桜島大根

桜島大根は、江戸時代から栽培が続く鹿児島を代表する伝統野菜です。桜島大根の特徴は、第一に甘味が多いことです。肉質はきめ細やかで辛味が少なく、やわらかくて味がしみやすいので煮れば煮るほど舌にとろけます。しかも形が崩れません。桜島大根には血管をしなやかにする「トリゴネリン」が豊富に含まれており、血管の伸び縮みをスムーズにすることで結果的に血液の流れを良くします。また、動脈硬化の予防に役立ち、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞といった病気を防ぐことが期待されています。トリゴネリンは、桜島大根の根にも葉にも含まれており、生の状態はもちろん、茹でたり揚げたりする料理や干し大根、レトルト加工や漬物にしても成分は損なわれません。いつもの食卓に、おいしくて健康的な桜島大根を積極的に取り入れましょう。

JA鹿児島みらい
桜島大根部会
「重久清隆さんの桜島大根」
を使いました☆
大根の皮はきんぴらに
したら美味しい!



桜島大根の田楽



材料

桜島大根…………… 適量
小ねぎ…………… 適量
片栗粉…………… 適量
(合わせ調味料)
・みそ・酒・みりん・砂糖

作り方

- ①大根を一口サイズに切る。
- ②耐熱容器に入れ、水を注ぎレンジで5分。
- ③キッチンペーパーで水気を拭き取り、片栗粉を薄くつける。
- ④大根を揚げる。
- ⑤みそ:みりん:酒:砂糖を2:1:1:1で混ぜる。
- ⑥混ぜた⑤をとろみがつくまで火にかける。
- ⑦⑥と小口切りにした小ねぎをかける。

桜島大根の生姜風味肉巻き



材料

桜島大根…………… 4分の1
豚コマまたは豚スライス約250g
片栗粉(まぶす用)…………… 適量
塩こしょう…………… 適量
かつおぶし…………… 適量
小ねぎ…………… お好みで
(合わせ調味料)
・水…………… 150cc
・しょうゆ・酒・砂糖 …… 各大さじ2
・みりん…………… 大さじ1
・おろし生しょうが …… 大さじ1

作り方

- ①皮を剥き、ひと口大に切った桜島大根を鍋に入れ茹でる。(水から約15分)
- ②桜島大根が透き通ってきたら竹串で茹で具合を確認し、ザルに移して粗熱を取って冷ましておく。
- ③豚コマ肉または豚肉スライスに塩、こしょうをまぶし、冷ました桜島大根を巻き片栗粉を適量まぶす。
- ④巻き終えたら、綴じめを下にし、フライパンに並べて中火で焼き色が変わるまで焼く。
- ⑤焼いている間に〈合わせ調味料〉を混ぜ合わせておく。
- ⑥豚肉に火が通ったら⑤を入れ中火で2分絡めて完成。
- ⑦お好みで、かつおぶしや小口切りにした小ねぎをかける。

家庭菜園



土壌消毒と冬の作業～寒起こしで土を消毒し、有機をプラス～

冬は菜園での作業も一段落。1年間使ってきた土をリフレッシュして、翌春からの作業に備えましょう。

土壌消毒

土壌消毒は、土中に住む病原菌や害虫を減らし、健康な野菜を育てるために大切な作業。周囲の環境への影響や、経済的なことを考えると、自然の力で消毒するのがもっとも望ましい方法です。

自然の力を利用して、土壌の病害虫を減らす方法は、夏に行われる太陽熱消毒と、冬の寒起こしがあります。しかし、夏の畑は果菜類の収穫の最盛期でもあります。

ということで、おすすめのお土壌消毒は、冬の農閑期に行う寒起こしです。

寒起こし

1月中旬のもっとも寒いころ、地表から30cmくらいの土を粗く掘り起こして、寒気にさらすことで土中の病害虫を死滅させることを寒起こしといいます。掘り起こされた土の塊は、夜間の寒気と日中の日ざしによって少しずつ崩れます。お礼肥も兼ねて同時に米ぬかを散布すると、滋味あふれる土になります。



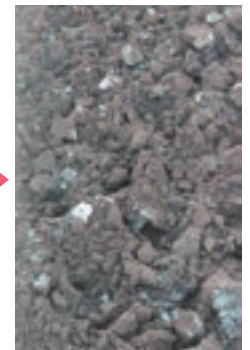
寒起こしをする場所に1㎡当たり米ぬか10をまんべんなく散布する。



スコップに足をかけ、刃をすべて土中に入れる。



てこの原理で刃を上げて、裏返す。土の表面積を広げるため、土の塊は崩さない。



作業後、表面はころごろした土がむき出しになっている。このまま約1ヵ月寒さにさらすと、土がリフレッシュされる。

読者からの

おたより



★創刊50回という特別な号をたまたま目にして私は初めて「みらい」を手に取りました。「みらい」という素敵な名前だなとまず思いました。中を開くとJAさんの様々な活動の様子が写真付きで紹介され、イベントの案内からお料理レシピまで役立つ情報がギュッと詰まった一冊だなと思いました。読んでいても楽しかったです。51号からも絶対に手にとります (ももこりら)

★創刊50号おめでとうございませう。私を知るようになってまだ一年半です。今では「鹿児島ふるさと物産館」で探すようになりました。「みらい」の管轄は広いですね。お陰様でいろいろな情報を知ることが出来ます。これからも色々な情報提供に活躍ください (ざいれいばつばん)

★私の住む錫山はバスもなく、だいが不便になりましたが皆で協力して色々なことをやっています。グラウンドゴルフ、錫山相撲、夏祭り、秋祭り、そのほかにも錫山の千両グループが載っていました。自分が知っている事が掲載されると読むのが楽しみです。錫山がいつまでも元気でありますように (でいこん)

★先月「家の光」を拝読しました。年に数回ですが購入しております。昔は付録に家計簿が付いていましたが今頃は・その家の光の中に「昔の台所」のタイトルで応募がありましたのでチャレンジ精神で書いてみました。結果はどうであれ

書いていくうちに色々な事が・子供の頃からお嫁に行くまでの生まれ育った風景などがよみがえり嬉しく思いました。また「家の光」愛読したいと思えます (四季咲子)

★ペンネーム「ジジババ」さんのコメントに目が止まりました。「お楽しみクイズ」ボケないように毎回、夫婦で取り組んでいます。皆さん一緒に楽しみましょう (ぶすこい)

★「みらい」創刊50号おめでとうございませう。JA直売所キャンペーンでござらんに行き初めて「みらい」を読みました。意外と身近な話題が多く読みやすかったです。次号も楽しみにしています (ポメロン)

★久しぶりに広報誌をいただきました。早速クイズに挑戦してみました。錆びた脳に刺激を与えて出来た時にはすっきり！今から先も全てに関心を持って前向きに頑張れば出来るかな？と思ひ方でした (せつちゃん)

★11月号にマリンパレスかごしまについて紹介されて嬉しかった。是非友人と一緒に遊びに行きたいです。次号も楽しみに期待しています。農協共通商品券が欲しいです。当たりますようにお願いします。必勝祈願 (ワカマつちゃん)

★子どもの笑顔が大好きです。12月号の表紙を見て元気ができました。吉田南幼稚園の園児の皆さん稲刈りが楽しかったでしょうね。伸び伸びと育ててほしいですね (つひこい)

単位:頭・円 (税抜価格)

12月子牛セリ市成績表 (売却のみ)

	みらい計	畜連計
総頭数	106	355
総平均	464,792	464,479
めす	頭数	46
	最高	570,000
	最低	187,000
	平均	380,370
去勢	頭数	60
	最高	889,000
	最低	253,000
	平均	529,517

【お詫びと訂正】2024年12月号の当JAの概況の中の正組員と准組員数に誤りがありました。正しくは正組員数5,396人、准組員数36,981人でした。ここに訂正してお詫び申し上げます。

広報誌モニターからの意見・要望

- ベジメーターの情報をもっと詳しく知りたい
- 2024年8月号の「みらいを繋ぐ」で紹介されている右田さんが12月7日の南日本新聞に出ており、とてもうれしく思いました。今年は天候不順で例年の6割しか収穫が見込めないとのことでしたが今後とも頑張ってほしいです
- 年金支給日に各支店のフロアで出張ござらんの野菜販売があると助かると思えます
- Q: 表紙の写真が良くない。稲穂を投げている意味がよくわからない
- A: 投げているのは稲穂ではなくて機械で収穫した後の稲藁を子供たちが集めて遊んでいるところの写真です。

理事会だより

第9回(11月27日)

- ① 女性役員選考委員会規程の一部変更について
- ② 役員選任の手続きについて
- ③ 総定数の変更に伴う定款・定款附属書総定選挙規程の一部変更について
- ④ 報酬審議会委員の委嘱について
- ⑤ 令和6年度冬季賞与の支給について

JA鹿児島みらいの概況 (2024年11月末)

正組員数	5,396
准組員数	37,074
総組員数	42,470
貯金残高	2,691億5千7百万円
貸付金残高	1,006億1千4百万円
長期共済保有高	5,327億9千6百万円

お楽しみクイズ

正解者の中から抽選で10名の方に農協共通商品券をお送りいたします。

応募方法

- 左下のハガキを切り取り、必要事項をご記入の上、
- ①支店窓口にお持ちいただくか、
 - ②85円切手を貼ってポストに投函してください。

[締切] 2025年2月10日(月) 必着

クイズの答えにおたよりを添えて、どしどしご応募ください。身近な地域の話題・イラスト・絵手紙・写真などの作品もお待ちしております。
[おたより]クイズの答えにまつわるエピソードのほか、JAに対するご意見・ご感想、良かった記事など教えてください。

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A B C D E

⇒ヨコのカギ

- 1 宝船の絵を枕の下に入れておくとよいものが見られるとか
- 2 窓を開けて取り込みます
- 3 カード式のホテルもあります
- 5 中東の国の一つ。首都はテヘラン
- 6 きねと臼でつくもの
- 8 「本の虫」と呼ばれることも
- 12 七草を入れて炊くことも
- 13 初詣で一年の——を祈った
- 14 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- 15 マスカラを付けるところ
- 16 脊椎動物にはあります
- 17 「Rがつかない月には食べるな」と言われる貝
- 19 耳が冷えないようにイヤー——をつけた

↓タテのカギ

- 1 年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- 4 サトイモの親芋のまわりにできます
- 7 コートなどに用いる毛織物
- 9 ここで話しているも——があかないから見に行こう
- 10 しんしんと降り積もるもの
- 11 箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- 13 さんずい、つかんむりなど
- 15 ほつぎに乗って飛べるとか
- 16 10を3回かけ合わせる
- 17 縁起をかついで食べる受験生もいます
- 18 おせち料理に入れる紅白の食材といえ
- 20 チャールズ・チャップリンは——の王様です
- 21 可燃ではありません

■11月号の答え



A ホ B シ C ガ D キ

11月号お楽しみクイズ 当選者発表(敬称略)

- *ももこりら(高麗町)
- *でこん(下福元町)
- *釣り吉(西谷山)
- *ガンバルウーマン(皇徳寺台)
- *キタさん(川上町)
- *ひまわり(千年)
- *いもこ(吉野町)
- *みかん(桜ヶ丘)
- *マルマル(本城町)
- *プルちゃん(桜島白浜町)

キリトリ線

▼本誌へのご意見、身近な地域の話題、イラスト、絵手紙、写真などお書きください。

ペンネーム

イベントのご案内

第25回 世界一桜島大根コンテスト

日時:1月25日(土)
場所:道の駅「桜島」
火の島めぐみ館
桜島大根コンテスト、
ブリ大根汁販売、
重量当てクイズなど



桜島だいこんフェア オープニングイベント

日時:1月26日(日)
場所:山形屋イベント広場(1号館と2号館の間)

桜島だいこんフェア

日時:1月18日(土)~2月23日(日)
場所:県内飲食店
県内飲食店の参加店舗にて、
桜島大根を活用した
メニューや商品の提供など



鹿児島市食育推進キャラクター
でこん丸

※時間等は変更になる場合がありますので、HPやLINEでご確認ください。

素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。ご了承ください。

アートの広場

みらい

1
2025

JA鹿児島みらい 広報誌

No.52

発行/ JA鹿児島みらい 〒892-0817
 発行責任者/ 代表理事組合長 村山 真一郎

鹿児島市小川町27番17号

ホームページアドレス/ <https://ja-kagoshimamirai.or.jp/>

印刷/ 海上印刷株式会社



たきこみごはん



ななくさでーす



のんちゃん



ひまわり



よしチャン



ユキダルマツコ



安納芋



ヒーちゃん



まりちゃん



つるひめ



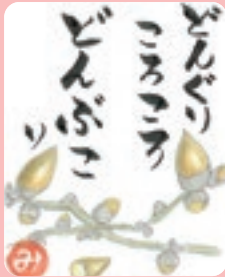
花野香菜子



マルマル



80代女性



道男君



いろはに ほへと



のんたろう



星蛾ミ子



松重文子

LINE JA鹿児島みらい 公式アカウント

LINEお友だち登録 プレゼント キャンペーン

キャンペーン期間
2024 12.16日 ▶ 2025 2.14日

1 2本

農協共通商品券
10,000円

2 5本

経済連 鹿児島黒豚・黒牛
選べるギフト
5,000円

4 20本

当JA管内
特産品セット
3,000円相当

3 10本

経済連 鹿児島グルメ
カタログギフト
3,000円

5 63本

当JA
小みかんサイダー
2本セット

※写真はすべてイメージです。

応募方法

LINEのお友だち登録後に届く
キャンペーン応募フォームからご応募ください。

JA鹿児島みらい LINE公式アカウント お友だち登録はこちらから!! ↓

お得な情報やイベント、
キャンペーンなど
月5回のペースで
配信しています。

大好評!!
「みいちやんスタンプ」
も購入できます!

登録方法がお分かりにならない方は、窓口職員までお気軽にお問い合わせください @rjp1931r

郵便はがき

切手を貼って下さい。
又はJA窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿児島市小川町27番17号

JA鹿児島みらい本部

広報誌 1月号

「お楽しみクイズ」係

	1月号 クイズの答え		
お名前		年齢	
住所	〒 -		
電話番号			

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、抽選、商品発送以外の目的で使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。